

1月24日(月)「1月25日は開校記念日」



元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。

明日1月25日は、学校の誕生日「開校記念日」です。今から129年前の明治6年に滝坂小学校は生まれました。当時の子供の数は200人。先生の人数は4人でした。

滝坂小学校の「たきざか」とはどうして名付けられたのでしょうか。それは、こんな理由があります。このあたりは、新宿から八王子までの甲州街道の中で、最も急な坂と言われ、荷物を背負った旅人や荷車を引いた行商人を苦しめたそうです。そこで荷車を押す「押し屋」が繁盛したほどだそうです。また、大雨が降ると滝のように水が流れるので、「滝坂」と名付けられたということです。その後、坂を崩す工事が行われ、今のような、なだらかな坂になったそうです。

さて開校記念日を迎えて、校長先生が大好きな滝坂小学校の「校歌」について調べてみました。『神代の神代の森の小鳥が呼びかける・・・』という歌詞を作ったのは「羽曾部忠(はそべただし)」さんです。羽曾部さんは、小学校の先生をしながらたくさんの詩を発表しました。当時の小学校の教科書には羽曾部さんの作品が載っていたそうです。作曲者の本多鉄磨(ほんだてつまる)さんは、学区域にある「常楽院」というお寺の住職さんでした。大学時代から作曲の勉強をされ、「思い出のアルバム」など2000曲以上の優れた曲を残されました。滝坂小学校の校歌は、詩と曲がマッチしていて、とてもすばらしい曲ですね。これからも大切に歌い継いでいきましょう。

おじいさん、おばあさん、お父さん、お母さん、みんな滝坂小学校の卒業生という人もいます。それくらいずっと前からある伝統ある小学校です。みなさん、明日は学校のお誕生日を心からお祝いしましょう。

以上でお話を終わります。今日は表彰があるので、続けて見てください。(礼)